



2023年3月期 決算説明資料

株式会社フォーラムエンジニアリング
(東証プライム：7088)

- **2023年3月期 決算概況**
- **2024年3月期 通期業績予想及び配当方針**

- **2023年3月期 決算概況**
- 2024年3月期 通期業績予想及び配当方針

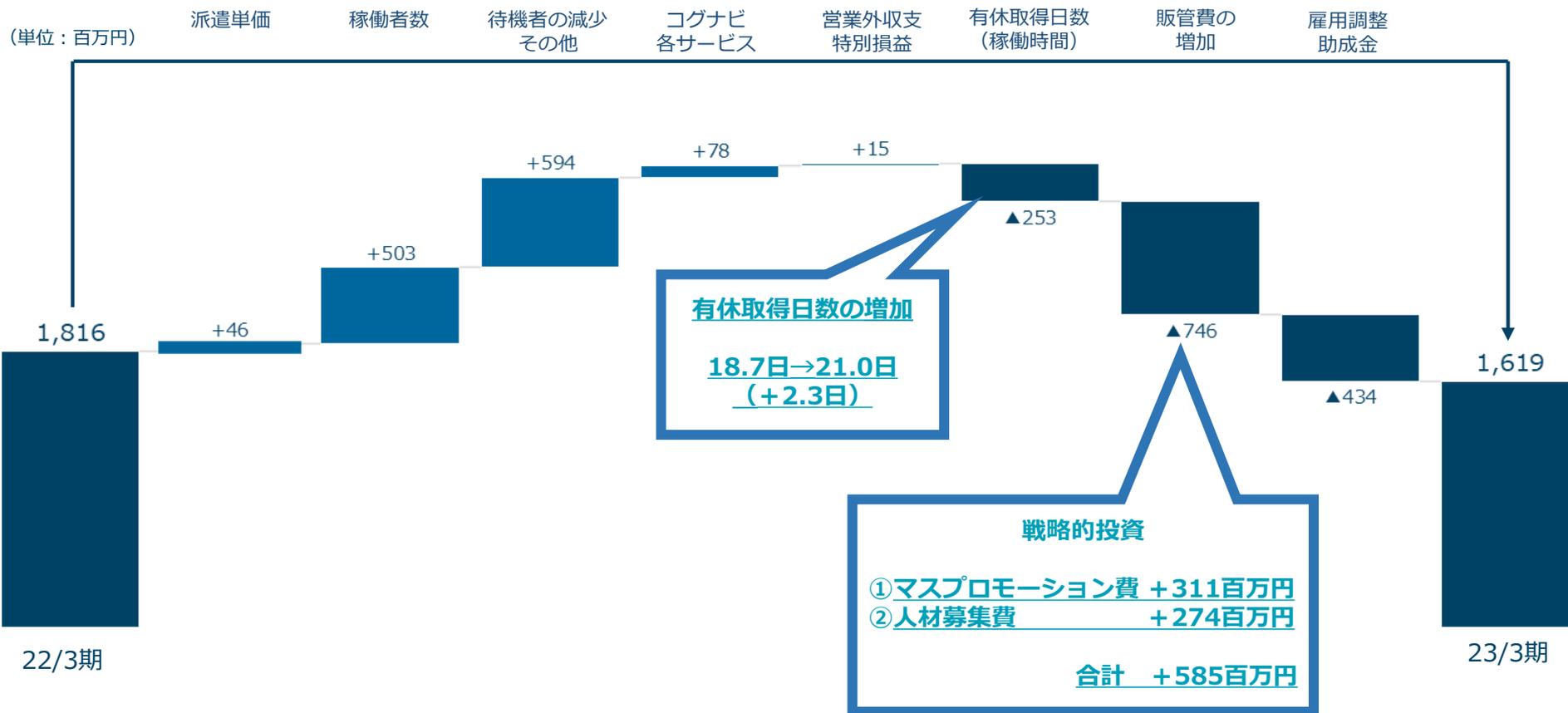
前期と比較し、売上高+6.8%、税引前利益▲10.9% と、増収減益。

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	2022年3月期 前期実績	前期比較	
			増減額	前期比
売上高	28,751	26,914	+1,836	+6.8%
売上総利益	8,424	7,890	+534	+6.8%
売上総利益率 (%)	29.3%	29.3%	▲0.0%pts	△0.1%
販管費	6,802	6,055	+746	+12.3%
営業利益	1,622	1,834	△212	△11.6%
営業外収支	△3	△18	+15	△80.5%
経常利益	1,619	1,816	△197	△10.8%
特別損益	0	0	+0	—
税引前利益	1,619	1,816	△197	△10.9%

2023年3月期 税引前利益 前年同期比較

主力の人材派遣事業及びコグナビ各サービスは、全て増益。
有休取得日数の増加、販管費のマスプロモーション費の増加が、減益の主な要因。
税引前利益は197百万円の減益。



注* 派遣単価、稼働者数、稼働時間による利益影響額は、算出した売上影響仮定額から前年度の派遣サービスにおける粗利率を仮定した概算値
* 各増減額は、百万円未満切り捨て表記

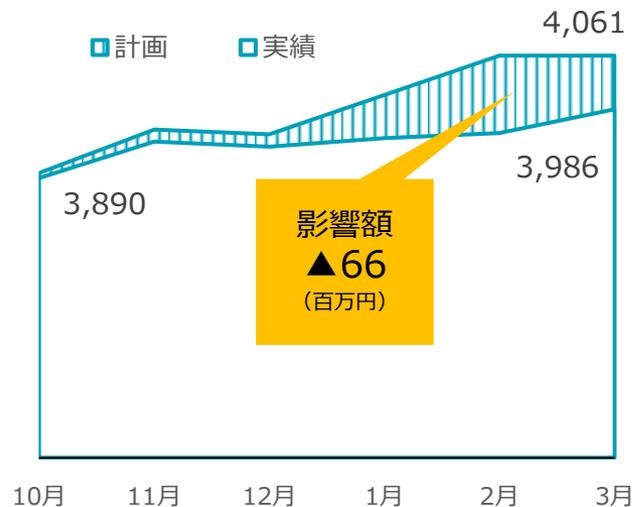
通期業績予想は、売上高1.1%、営業利益16.4%の未達。

	(単位：百万円)			
	2023年3月期 通期予想	2023年3月期 実績	2023年3月期 予想比	
売上高	29,070	28,751	△318	△1.1%
営業利益	1,940	1,622	△317	△16.4%
経常利益	1,920	1,619	△300	△15.7%
当期純利益	1,300	1,163	△136	△10.5%

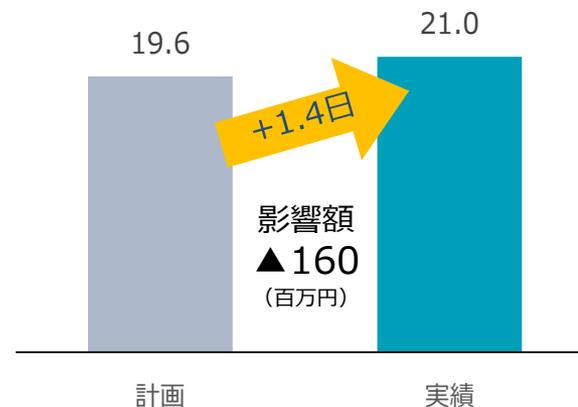
【営業利益】 通期業績予想と実績値との差異の理由

- ① 人材派遣事業における稼働者数の減少 ▲66
- ② 派遣エンジニアの有休取得日数の増加 ▲160
- ③ コグナビ転職／新卒の成約数の減少 ▲81

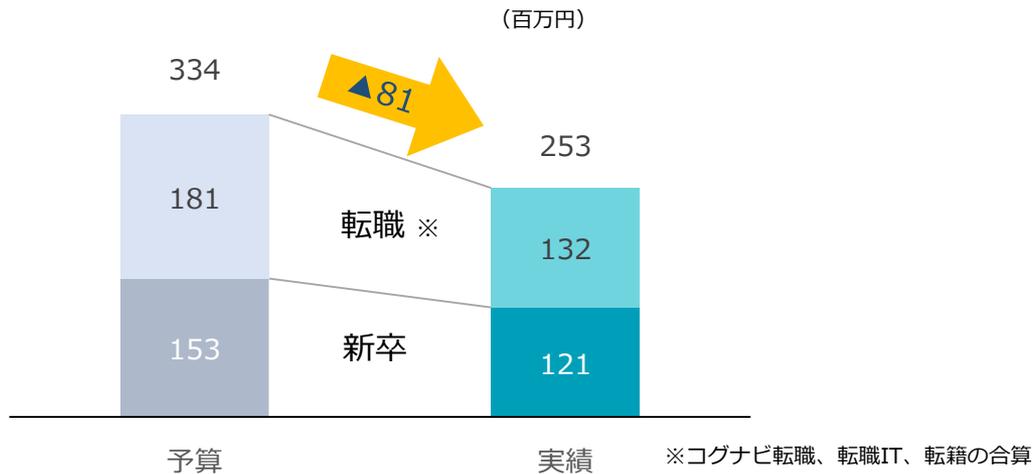
① 稼働者数



② 有休取得日数



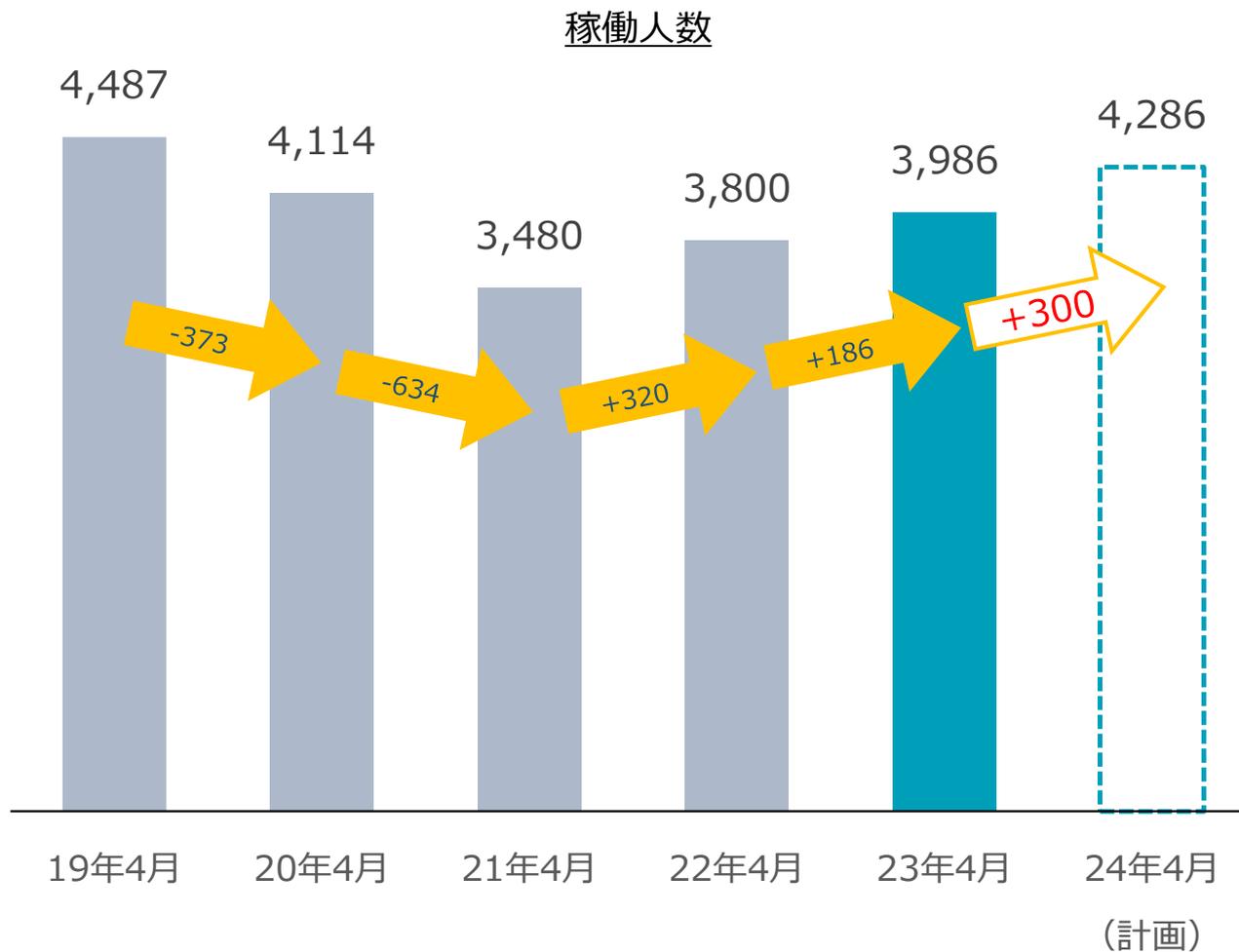
③ コグナビ転職/新卒



- 2023年3月期 決算概況
- **2024年3月期 通期業績予想及び配当方針**

(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期	
	前年実績	通期予想	前年差	前年比 (%)
売上高	28,751	30,760	+2,009	+7.0%
営業利益	1,622	2,920	+1,298	+79.9%
経常利益	1,619	2,880	+1,261	+77.9%
当期純利益	1,163	1,960	+797	+68.5%

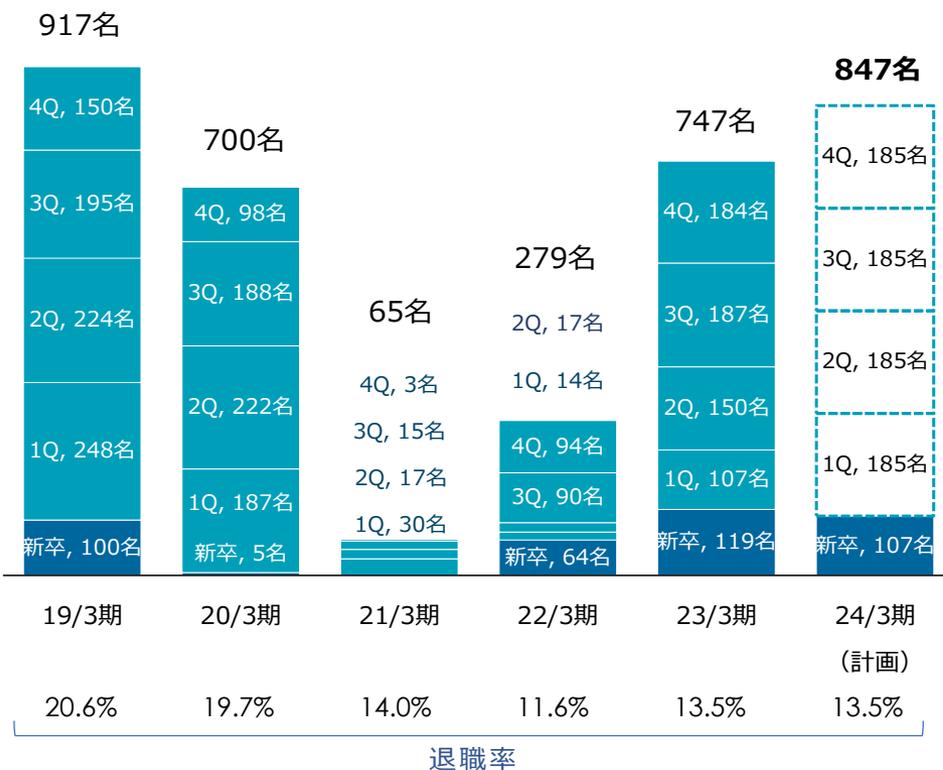
人材派遣事業は、精緻な採用計画を策定。稼働人数300名増を計画。



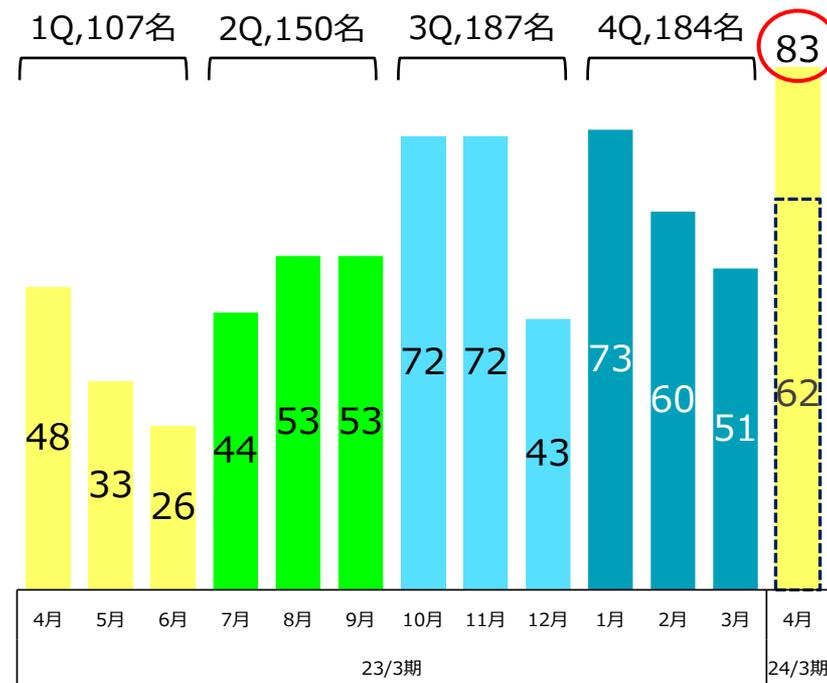
注* 各期における期初時点（4月始め）の数字

四半期の採用計画数を185名とする。4月実績は83名と計画を上回る進捗。
今期の新卒採用数は107名。

採用数（期別）

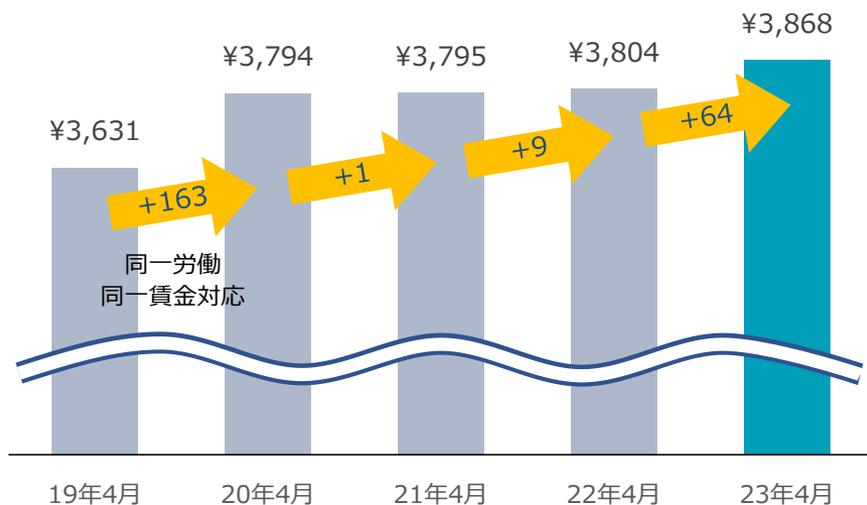


採用数（四半期別・月別）



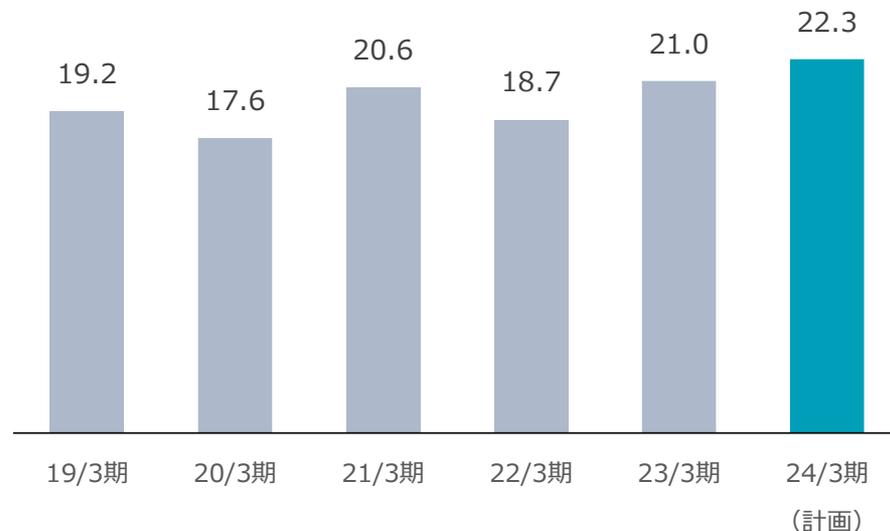
稼働平均単価は、期初の単価改定交渉によって上昇。この水準を維持。
有休取得日数は、保有残数及び付与日数を100%取得する前提とし、下振れリスクを回避。

稼働平均単価



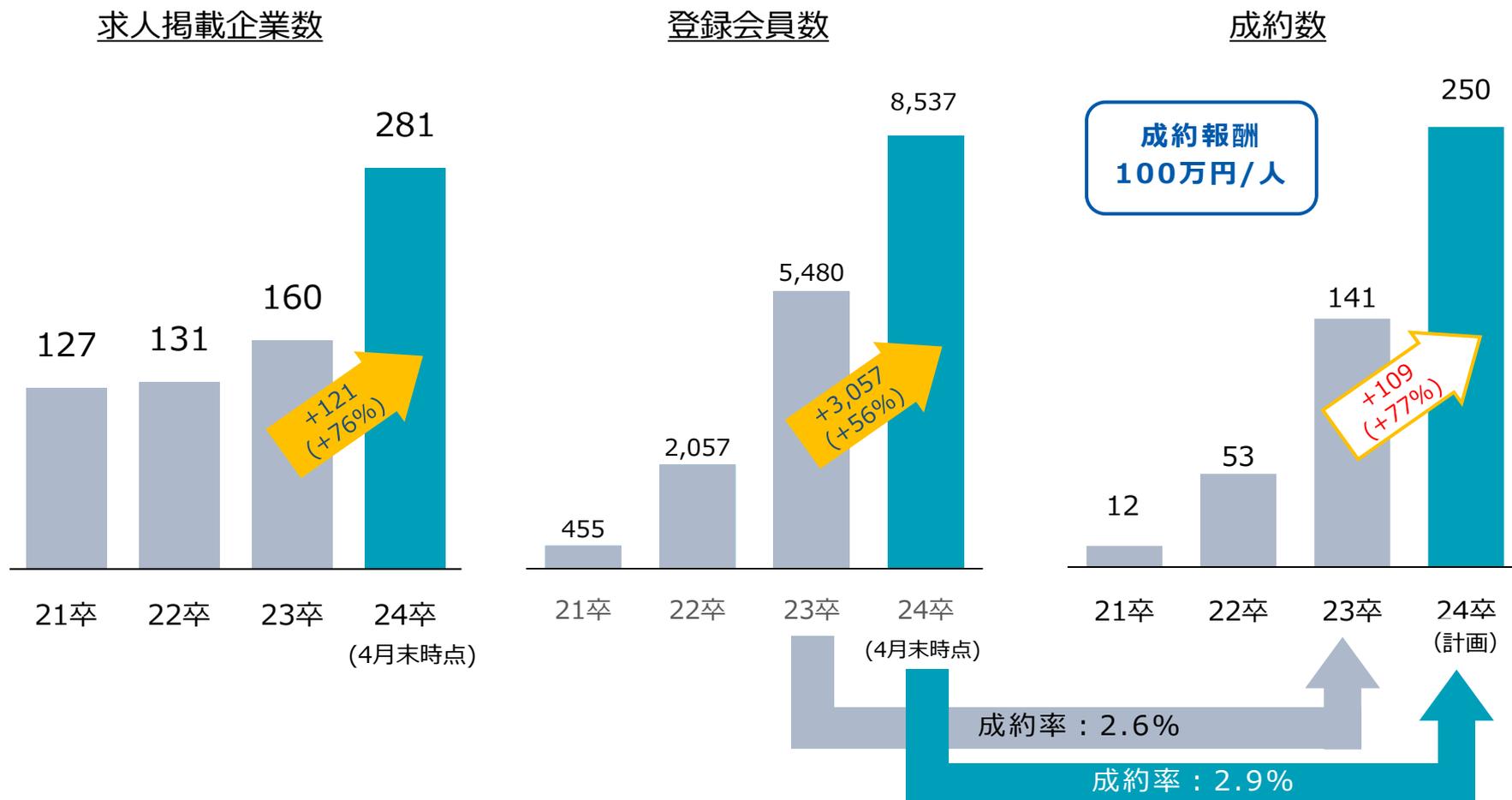
注*各期における期初時点（4月始め）の数字

有休取得日数



前期の登録会員からの成約率は2.6%。

今期は求人掲載企業数の増加により、成約率2.9%の250成約を見込む。



販管費の、情報システム費とプロモーション費を削減。

【情報システム費】AIマッチングの手法を見直し、システム利用料と保守料を低減。

【プロモーション費】TVCMの中止。

販管費の推移

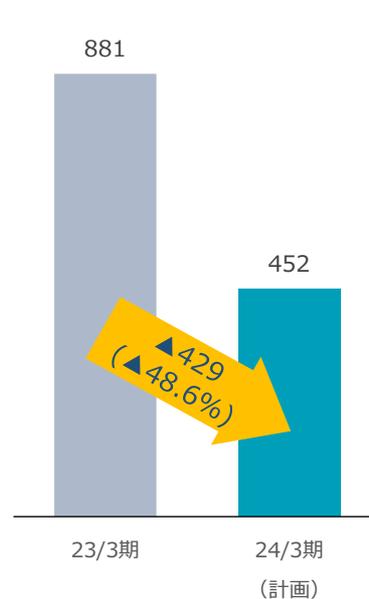
(百万円)



情報システム費

(前期比)

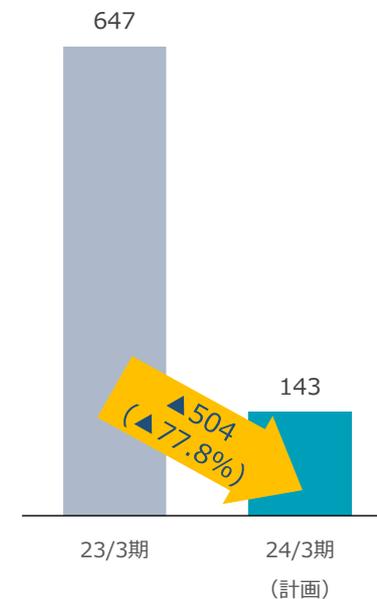
(百万円)



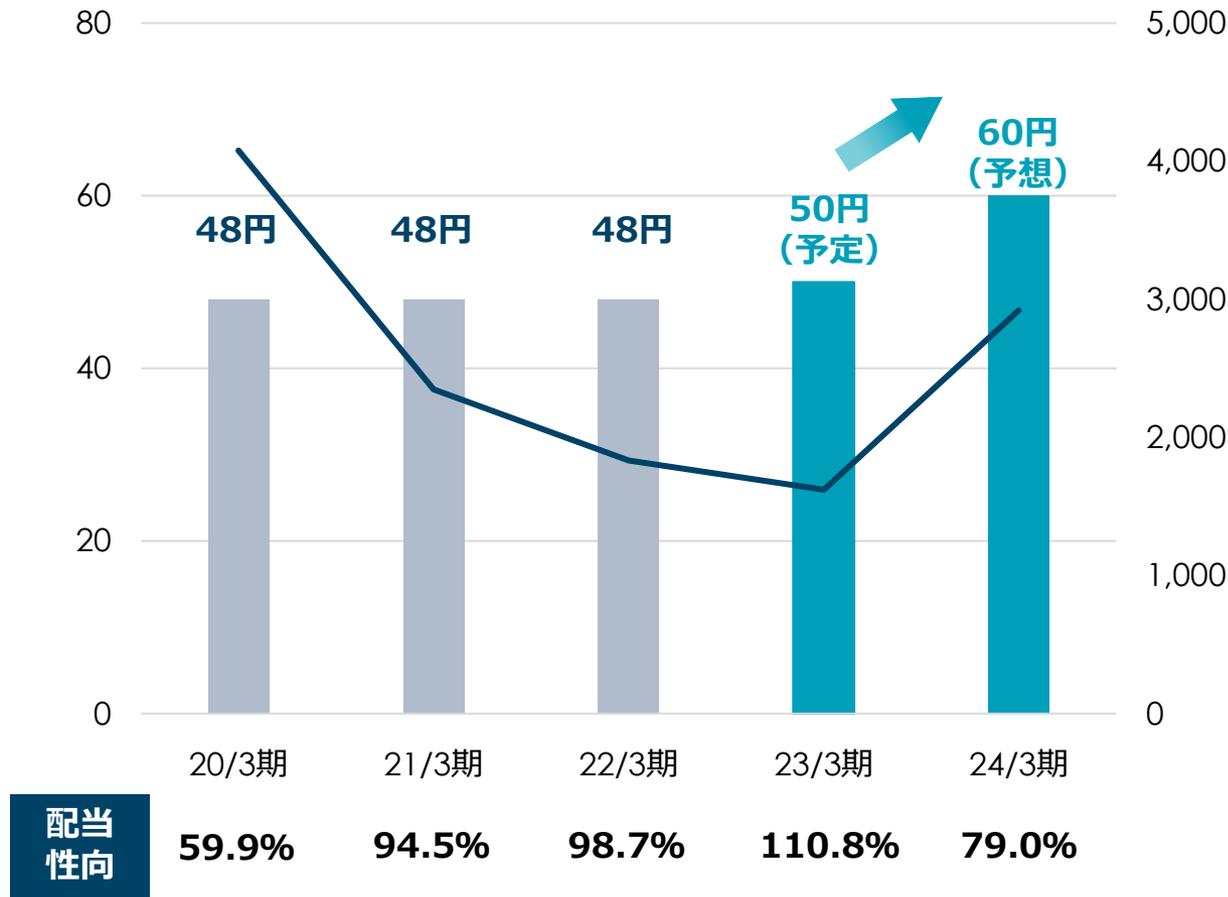
プロモーション費

(前期比)

(百万円)



前期の1株当たり配当額は2円増配の50円を予定。
収益成長を目指す今期における1株あたり配当予想額は、10円増配の60円。





cognavi Vision2026



2024年3月期-2026年3月期 中期経営計画
2023年5月

株式会社フォーラムエンジニアリング

証券コード：7088（東証プライム市場）

- 1. 当社のミッション**
- 2. 中期経営計画 [cognavi Vision2026]**
- 3. サステナビリティへの取り組み**

1. 当社のミッション
2. 中期経営計画 [cognavi Vision2026]
3. サステナビリティへの取り組み

-MISSION-

スキルがつながる世界へ。



機械・電機系学生の学びやエンジニアが持つスキルと、企業が求めるスキルとのつながりを、人工知能（AI）によって結びつける、独自のマッチングシステム『コグナビ』。

私たちは機電系エンジニア人材市場において、この『コグナビ』のマッチングテクノロジーを駆使し、エンジニアと企業をスキルでつなぎます。

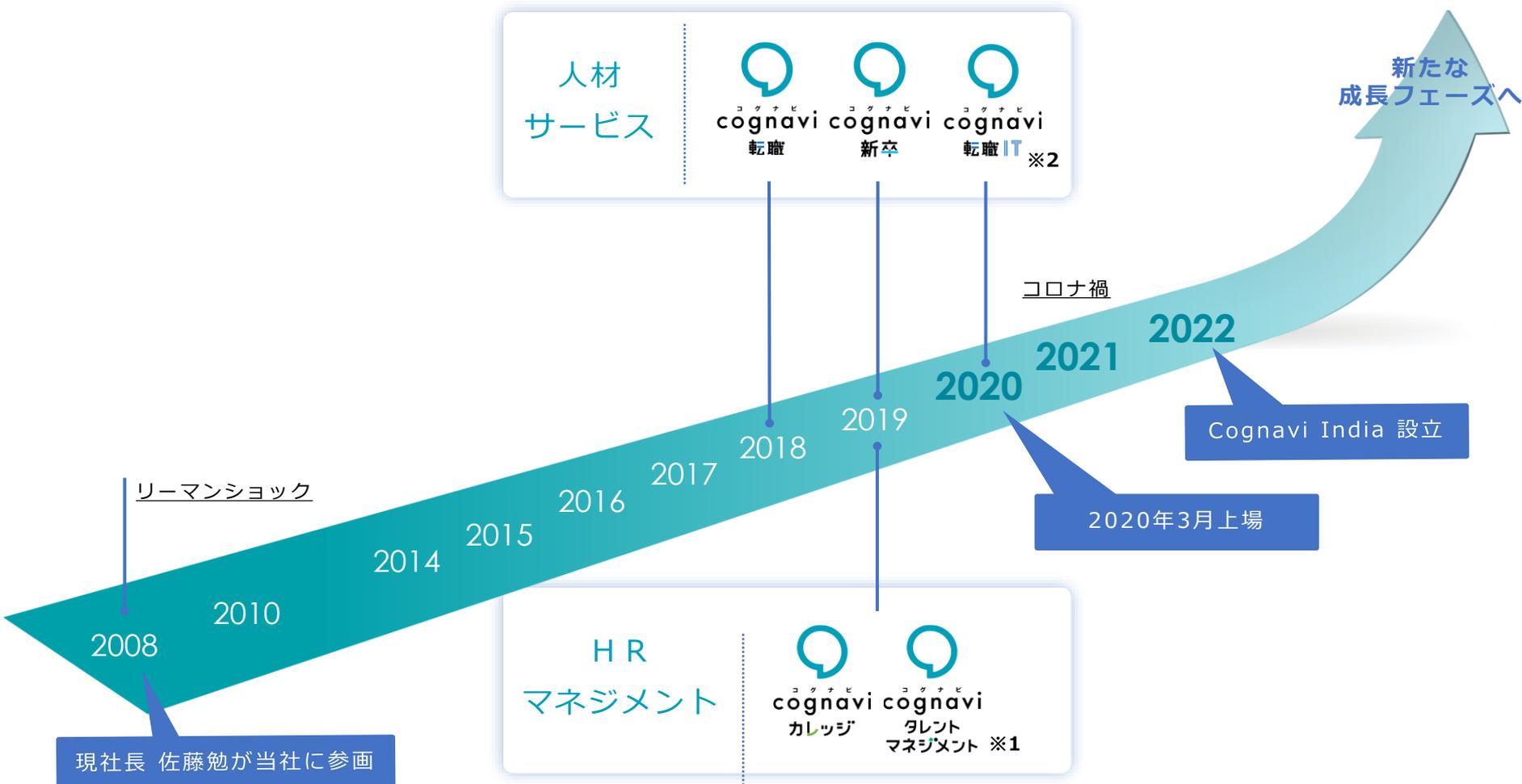
新卒理工系学生の就職支援から、転職、人材派遣、教育まで、エンジニアのすべてのキャリアシーンを、『コグナビ』がサポートします。

人口減少、改正派遣法（同一労働同一賃金）により
「**転換期**」にある国内技術系エンジニア派遣市場

機電系エンジニア領域の総合化

テクノロジーによるマッチングの効率化

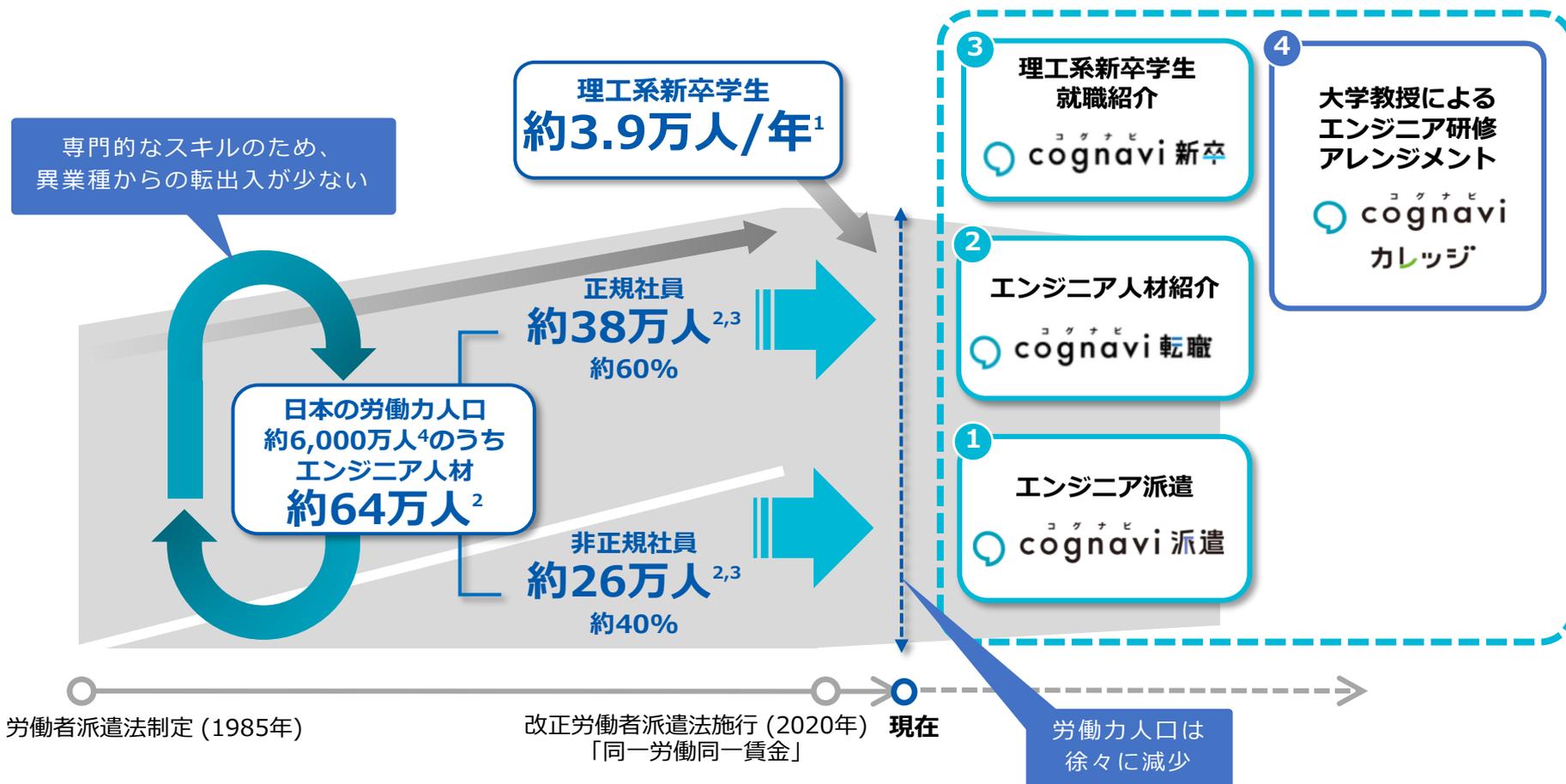
2008年以降、テクノロジーへの投資とプラットフォーム開発を進め、2018年より“cognavi”の各種サービスを順次ローンチ、本格展開。



※1. 2023年3月：サービス終了（サービス再構築のため）

※2. 2023年6月：サービス終了予定（「コグナビ 転職」に一本化）

労働力人口の減少に起因する市場構造の変化を見越し、派遣事業からエンジニア人材のあらゆる流動化機会を捉えるプラットフォーム「コグナビ」を構築。



注：図はイメージであり、人数の実際の増減を表すものではない

1. 文部科学省「平成30年度学校基本調査」記載の「関係学科別大学入学状況」の機械工学及び電気通信工学への入学者数より当社推計
2. 総務省統計局「2015年度国勢調査」記載の「電気・電子・電気通信技術者（通信ネットワーク技術者を除く）、機械技術者、輸送用機器技術者」の合計値（但し、65歳以上は除く）
3. 非正規社員/正規社員の割合は、厚生労働省「『非正規雇用』の現状と課題」より当社推計
4. 総務省統計局「2015年度国勢調査」

膨大な「技術用語」と、用語同士の技術的関連を紐付ける「関係線」から構成。関連する「技術用語」同士を、関連の強弱を加味した「関係線」で結び、マッチングの根拠とする。クライアント企業とエンジニアの双方が気付いていない、潜在的な要件やスキルを見出し、可能性を広げるマッチング機会を提供。

4 ツリー *

「製品・部品」「技術・ツール」
「職種・工程」「学問的知識」

8 業種

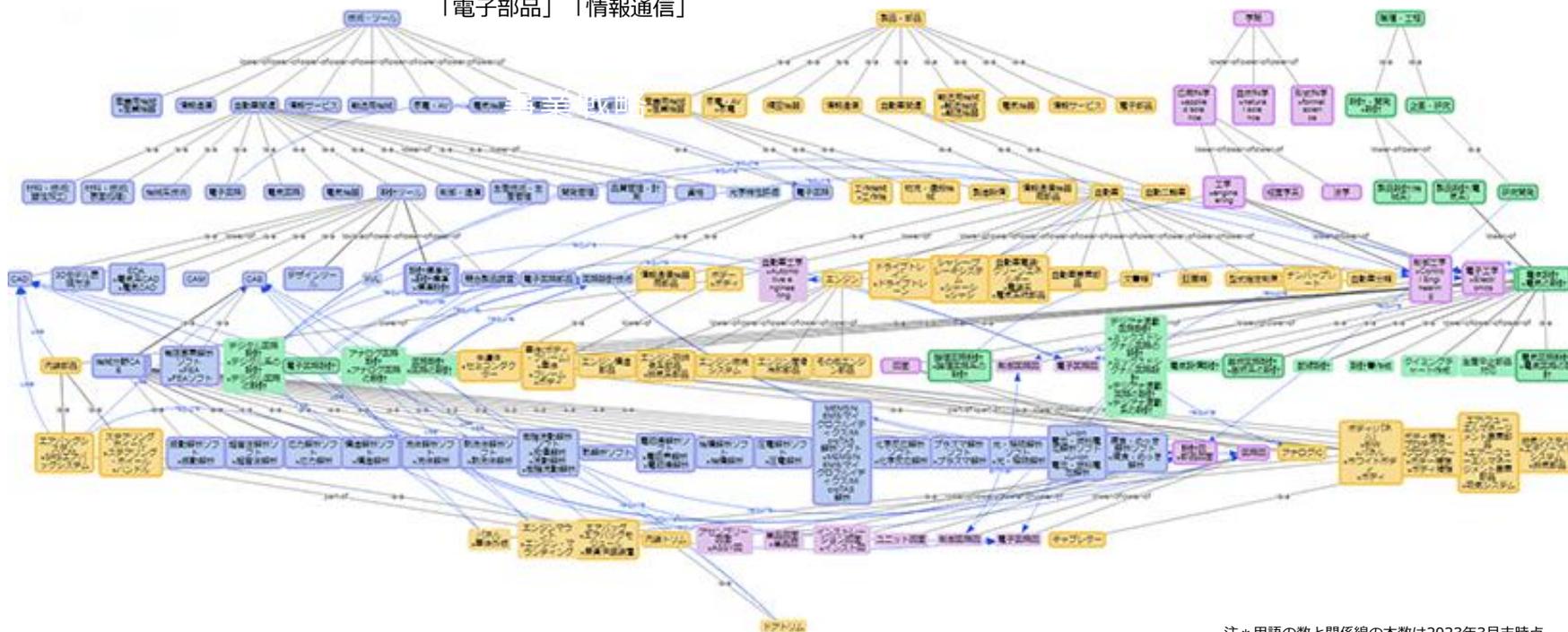
「自動車関連」「輸送用機械」
「産業用機械」「家電・AV」
「精密機器」「電気機器」
「電子部品」「情報通信」

約 **178,000** 語

対象を定義する用語の数

約 **150,000** 本

対象の価値を詳細化（相関関係）
する用語間の関係線の本数



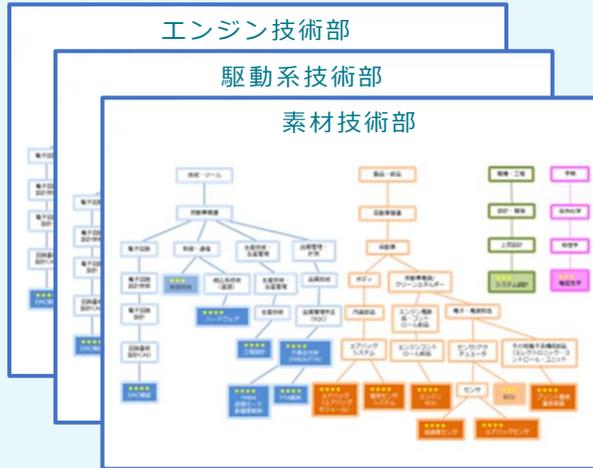
注 * 用語の数と関係線の本数は2023年3月末時点

クライアント企業の部署毎に異なるスキル要件、エンジニア人材の保有スキルの双方をツリー構造で可視化し、双方のツリーを重ね合わせることで、ダイレクトにマッチング。

クライアント企業



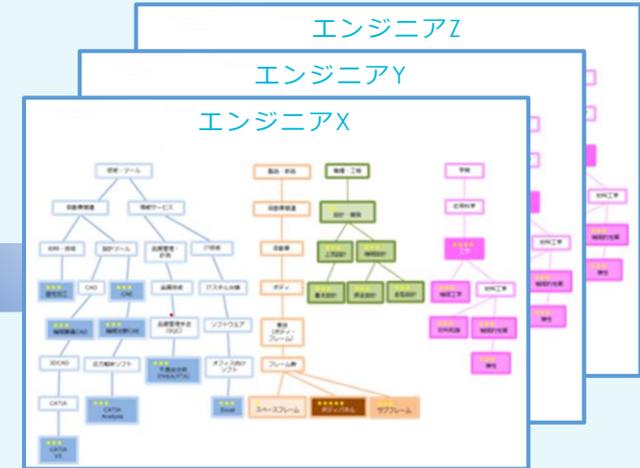
企業が求めるスキル=「テクニカルツリー」



エンジニア



人材が有するスキル=「スキルツリー」



kokuu



可視化／数値化されたマッチング結果

検索結果 406人 を表示中

> 検索条件の変更

エリア内の有効会員 1888人 経験者 406人 未経験者 0人



あなたのマッチングマップ ?

アピールマップに切り替え



スキルを基に
スコアの高低のみに囚われず
マッチングを実現

クライアント企業のテクニカルツリーを部署単位で収集・蓄積し、スキル毎の関係線を活用することでダイレクトマッチングを実現。

大手自動車会社

エンジン技術部

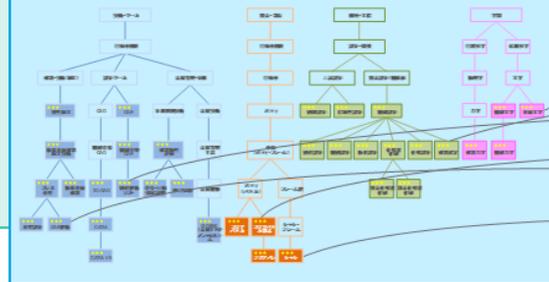
28点

駆動系技術部

43点

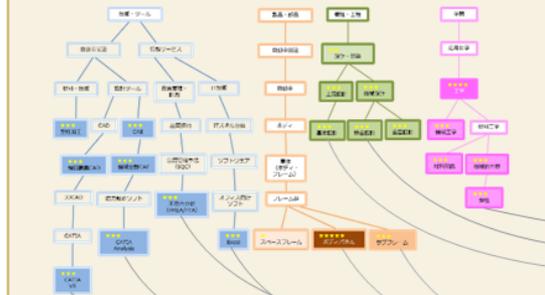
素材技術部

56点



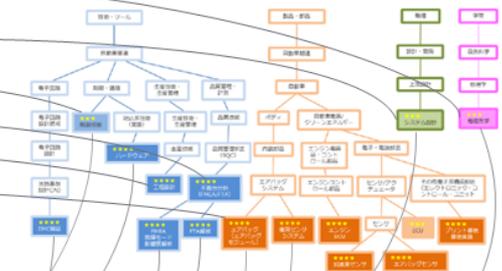
車体技術部

77点



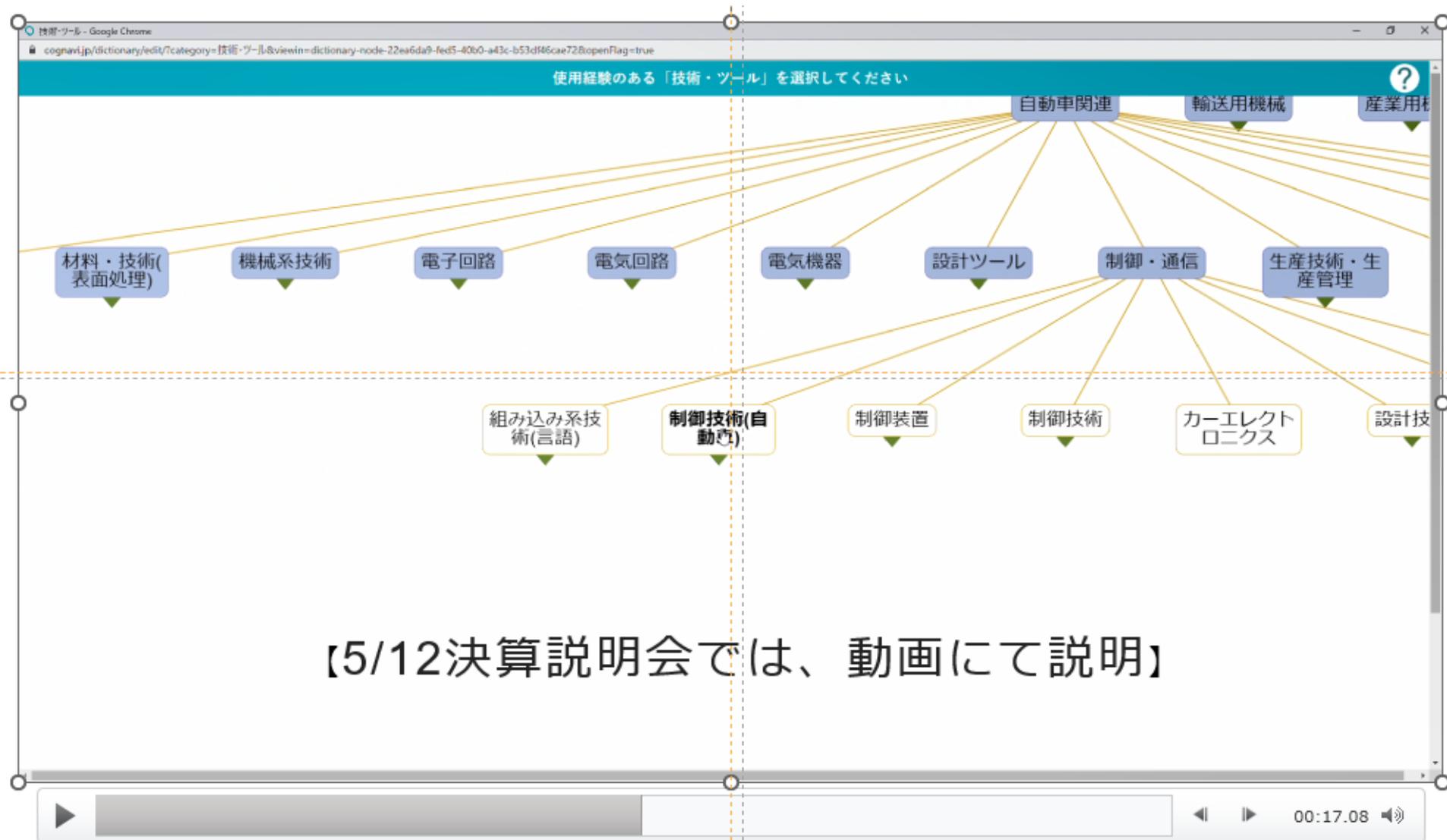
部署毎に蓄積

エンジニア人材



関係線

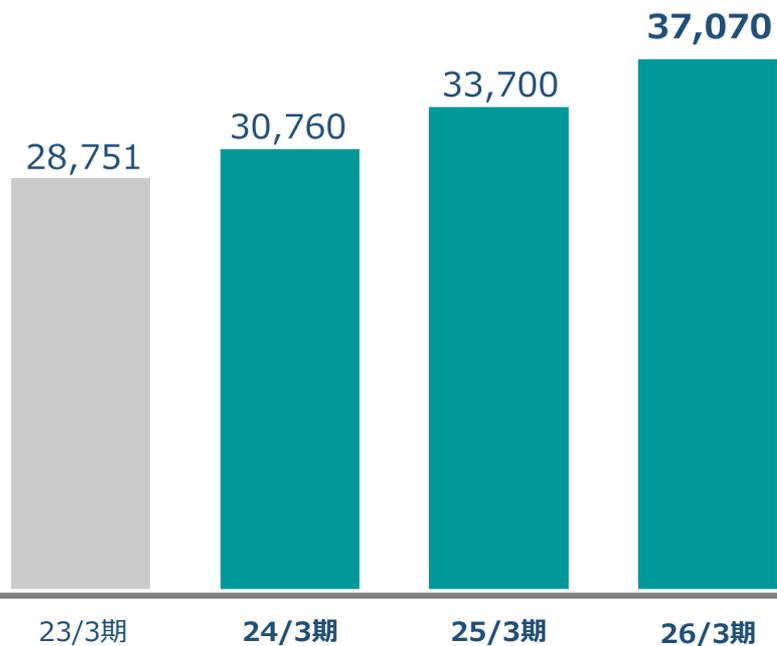
【ツリー構成の動画】



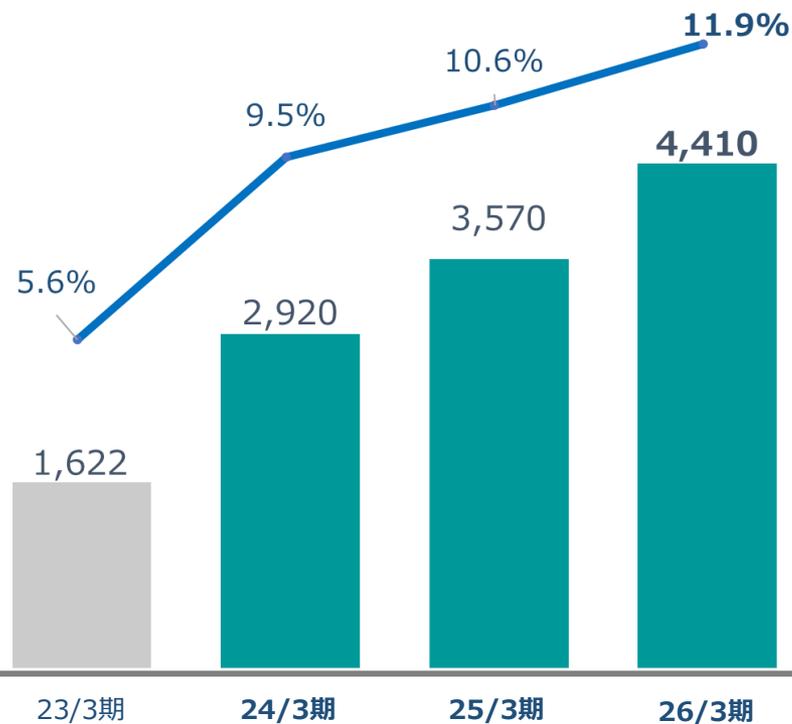
注*用語の数と関係線の本数は2022年12月末時点

1. 当社のミッション
2. **中期経営計画 [cognavi Vision2026]**
3. サステナビリティへの取り組み

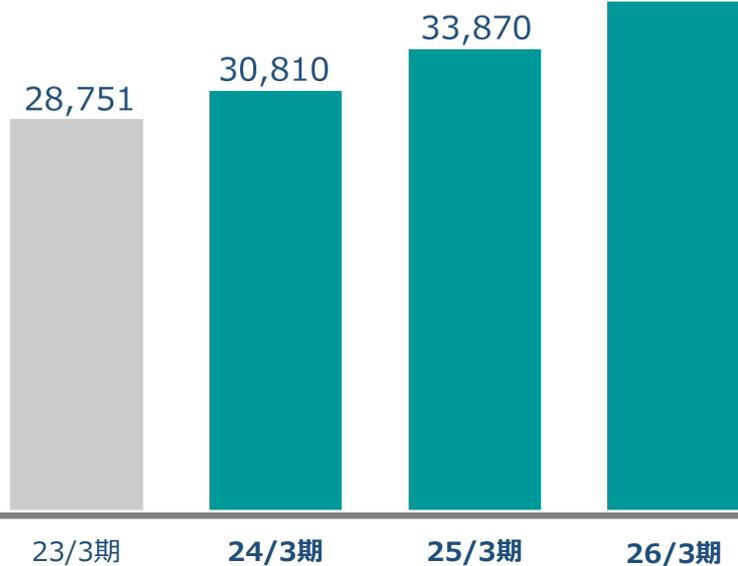
売上高



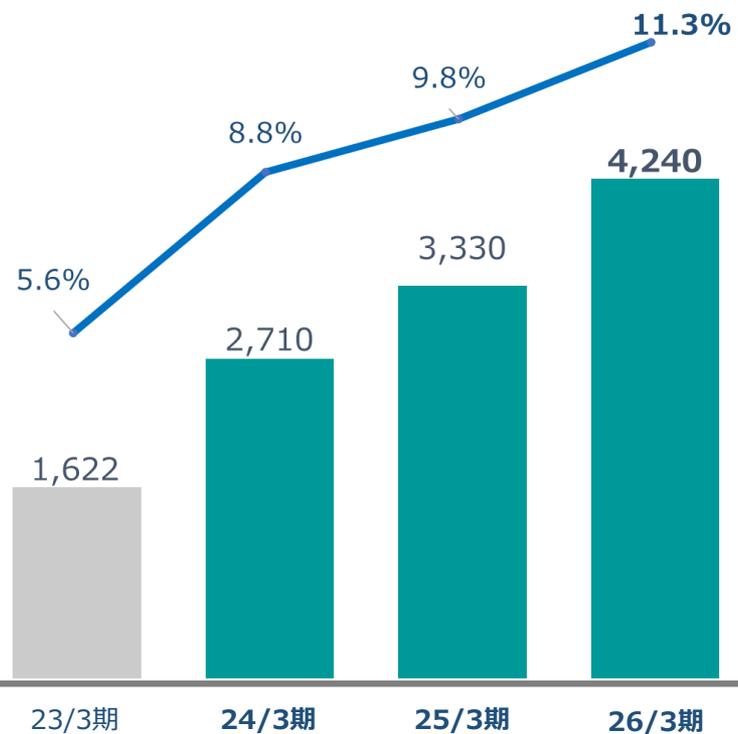
営業利益 / 営業利益率



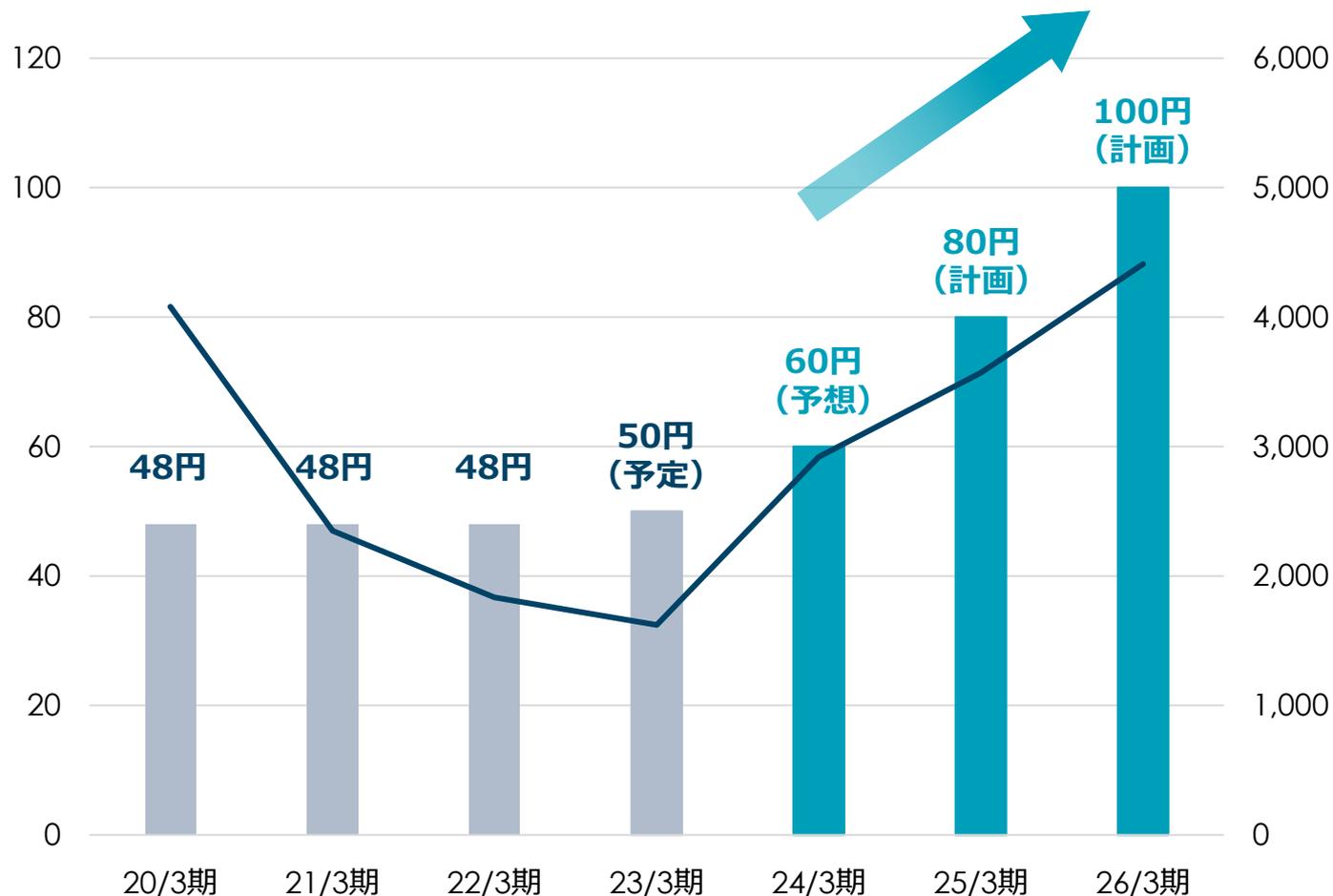
売上高

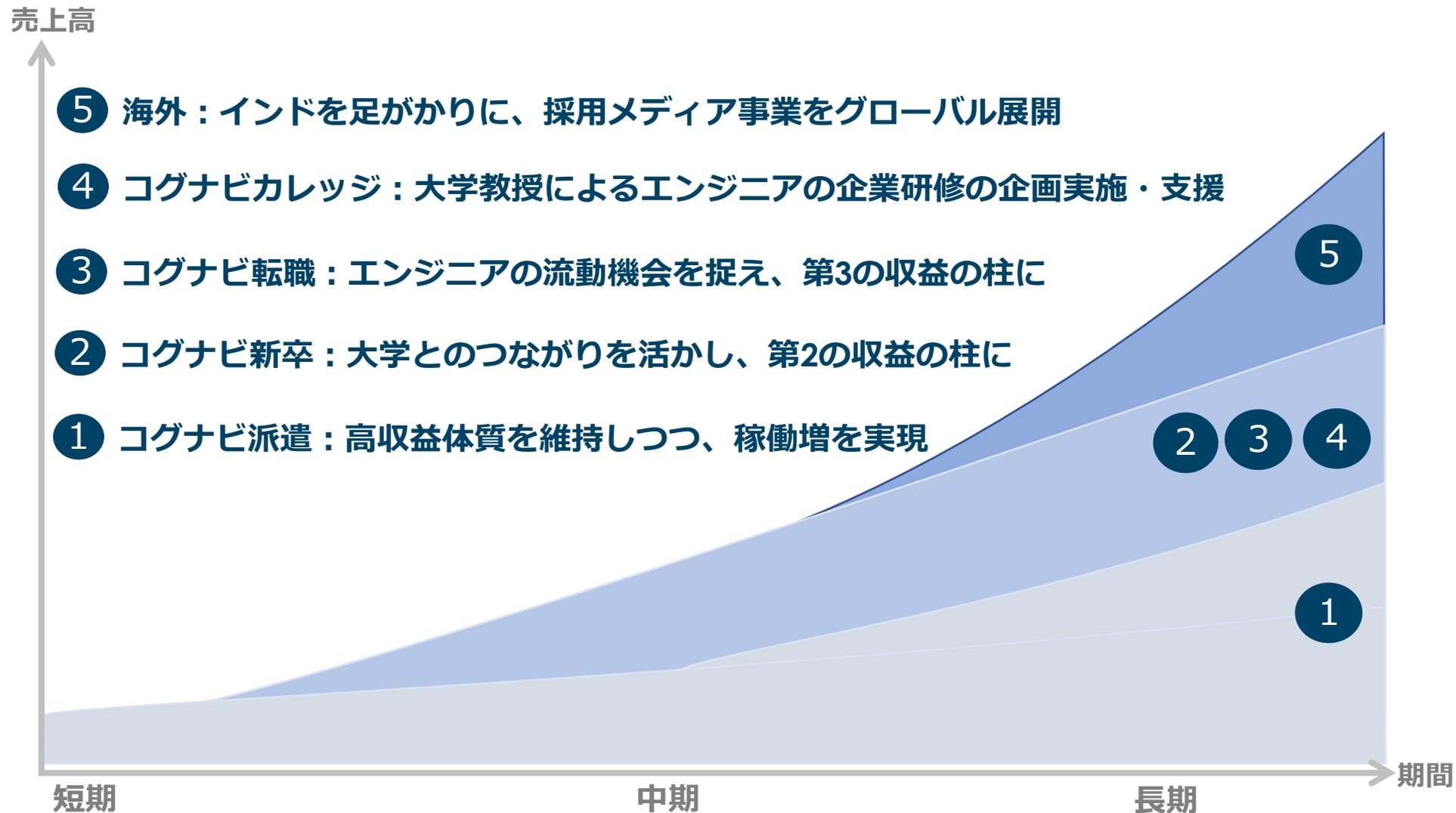


営業利益 / 営業利益率



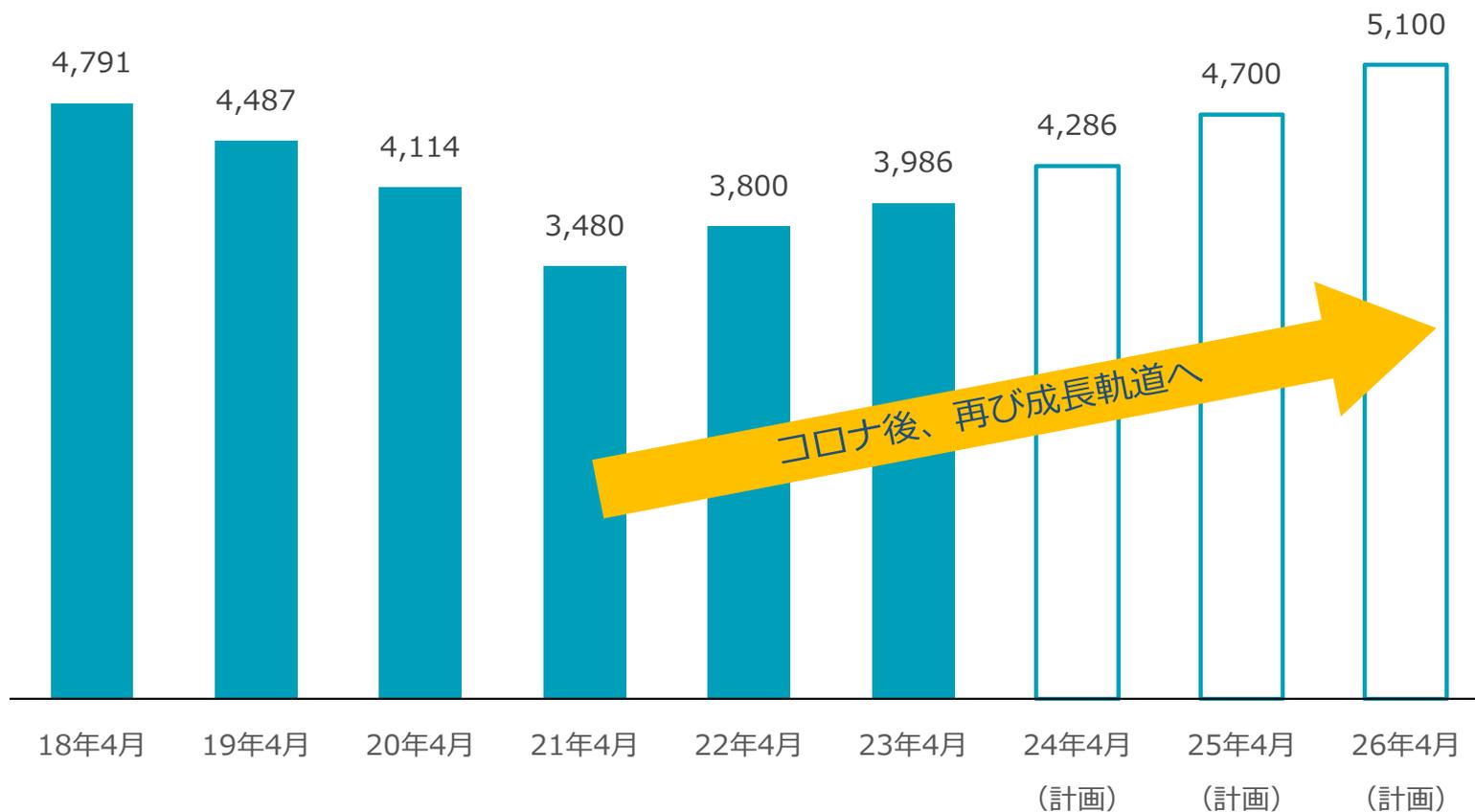
「cognavi Vision2026」で収益成長と継続的な増配を目指す。





高収益体質を維持しながら確実にシェアを伸ばし、3年後の稼働人数5,100名を達成する。

稼働人数



慢性的なエンジニア不足の環境下において、オーガニックな成長の鍵は「エンジニアの採用」。自社施策②～④による採用を強化し、その比率を上げていく。

① 応募からの採用率向上

「地元で働きたい」にこだわり、通勤圏内に限定した案件を提示。
“kokuu”を活用し、エンジニアのスキルに合った案件を提示。
採用時給与を増額して提示し、高スキルエンジニアに訴求。

② カムバック採用

過去の退職者に対し、再雇用を促すメールを定期配信。

③ 社員紹介制度

紹介者（当社社員）に対してメールを定期配信し、協力を要請。
入社時の報酬金額増額キャンペーンを定期的を実施。

④ ストック人材

過去の辞退応募者に対し、再応募を促すメールを定期配信。

オーガニックな稼働人数増に加え、
M&Aの活用 により、さらなる成長を目指す

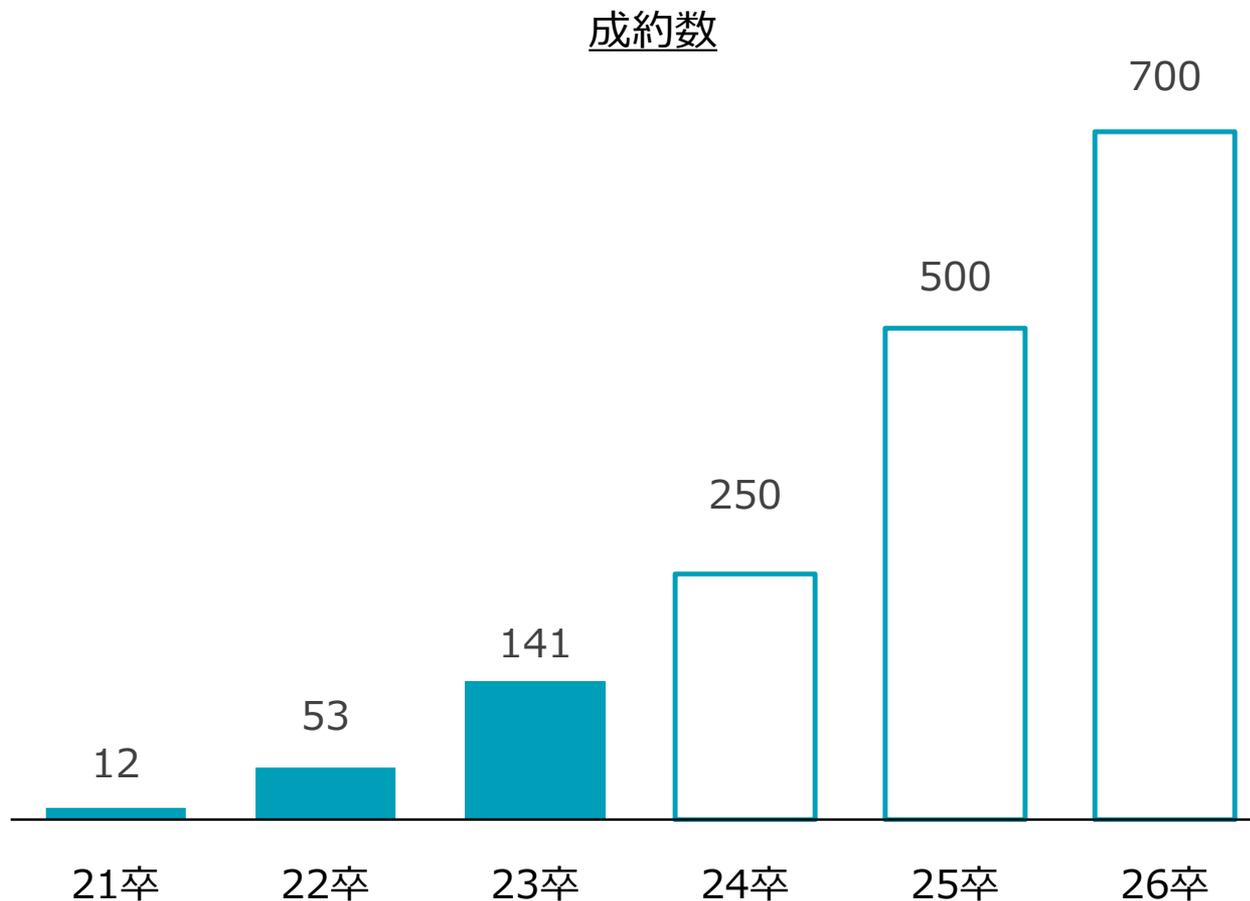
検討対象

日本国内に限定

機械・電気領域の人材派遣企業

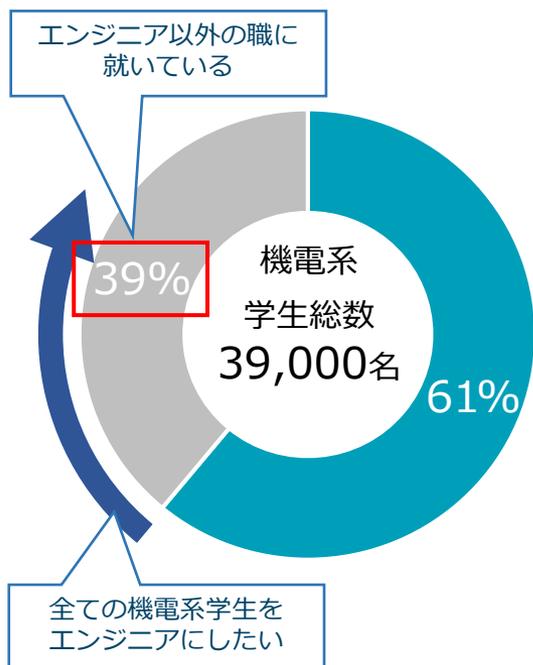
コグナビサービスを利用し、普及を共に目指せる企業

機電系学生39,000名全てが、「メーカー」に就職し、「エンジニア」として働ける世界を「コグナビ新卒」を通じて実現するための、足がかりとなる3年間とする。

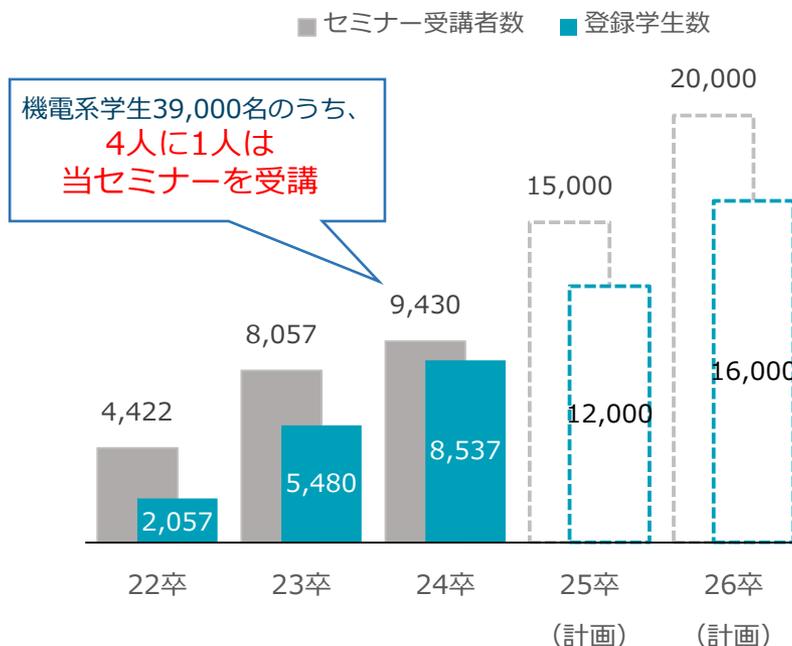


「全ての機電系学生をエンジニアに」という思いから、元メーカーエンジニアの当社社員を講師とし、大学3年生を対象としたセミナーを、2015年より大学内で実施。「コグナビ新卒」の会員は、全てこのセミナーを受講した学生。

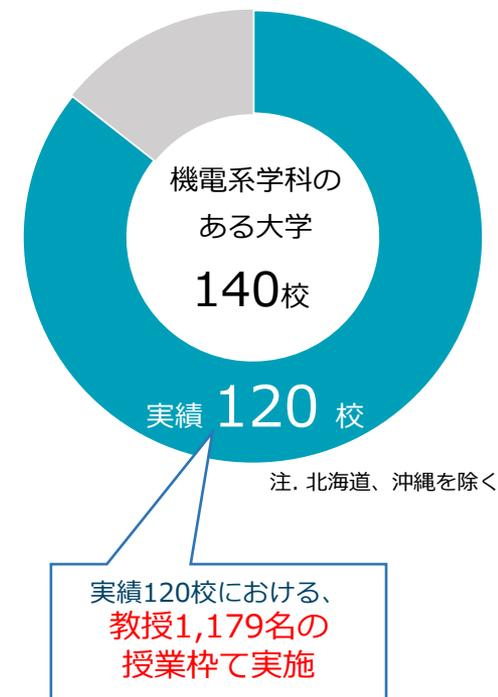
新卒理工系学生の進路



受講者数/会員登録学生数



講義実績大学数



セミナー実施のうち、約8割は「単位取得」可能な授業枠の一環として開催されており、機電系大学における一定の認知と信用を獲得している。



大学	中部大学
学部学科	工学部 機械工学科
講義形態	学科単位
セミナー出席人数	159名
コグナビ新卒会員登録数	154名

東海大学
工学部 精密工学科
合同ゼミ単位
71名
58名

石巻専修大学
理工学部 情報電子工学科
自主参加
5名
4名

最新の技術動向も盛り込み、将来メーカーで働くイメージが沸くようなセミナー。
コグナビ新卒を使い、自分の「学び」がどんな仕事に結びつくかを体験。

最新の技術動向と履修科目とのつながり

機体の軽量化
材料工学、材料力学、構造力学、材料強度学、機械工学、加工学 等

空力性能
航空工学、流体力学 等

フェイルセーフ、安全設計
品質工学、信頼性工学、設計工学、システム工学、電気機器学、電子工学、情報工学 等

フライト時間の延伸、省電力
電気工学、電力工学、電気機器学、パワーエレクトロニクス、エネルギー工学、化学、材料工学、電気電子材料、熱工学 等

モノづくりエンジニアの重要性

日本の人口
約1億2526万人

就業者数
約6646万人

モノづくり企業の就業者数
約621万人

モノづくり
約621万人

エンジニア
64万人
約1.0%

引用：総務省統計局 2022年1月 労働力調査

モノづくり企業 7,447社 39,548事業所
(従業員50人以上 資本金3000万円以上)

毎年卒業する学生数 約560,000人
内 機電系学生数 約39,000人

引用：経済産業省 令和3年 企業活動基本調査

引用：文部科学省 令和3年 学校基本調査

多くの企業が専門を学んだ皆さんを必要としています。
👉 未来を見据えて、行動すること！

モノづくりの流れと各部署の関わり



コグナビ新卒による、学びと仕事のマッチング体験

コグナビ
cognavi 新卒
by フォーラムエンジニアリング

学んできたこと、好きなことでマッチング
「履修科目」や「実習・実習」で習得したツールを、ツリー上に体系的に表します。成績ではなく、「好き」や「得意」を重視することで、楽しく働きを目指します。

履修科目: 機械工学, 電気工学, 共通, 機械, 電気, 情報
実習実習: 電子部品, プログラム, その他

ここから入って体験

https://www.cognavi.jp/new_grad/

履修科目や学修歴が
どんな企業のどんな部署の仕事に結びつくか調べてみよう。

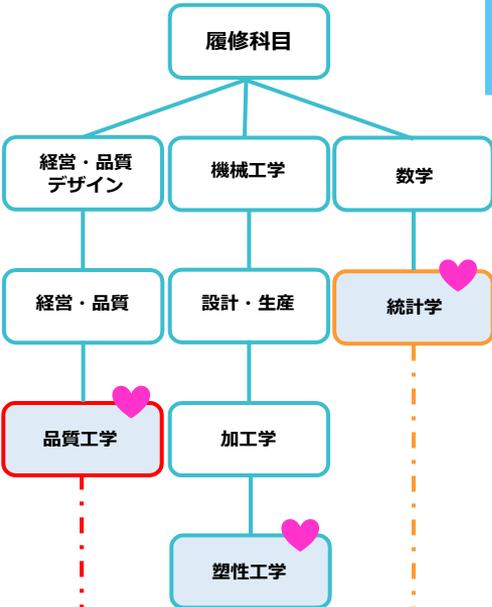
学生が好きな履修科目から、活かせる仕事をピンポイントで導き出し、内定受諾。

スキルツリー (抜粋)

工学部
機械工学科

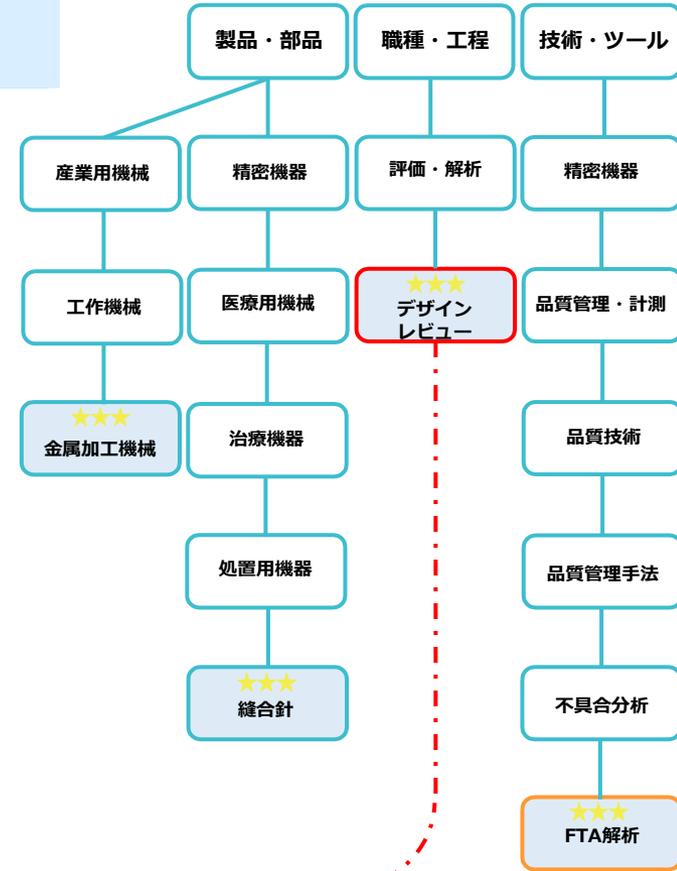
医療機器メーカー
研究開発部門

テクニカルツリー (抜粋)



マッチング根拠

手術用器具など、人命に関わる製品のため、不良品を出さない厳しい規格がある。開発時のデザインレビューや不具合発生時の解析には、品質工学や統計学の知識が必要。



コグナビ新卒でメーカーに就職したエンジニアが、やがて転職する際の受け皿となる。この流動機会を捕捉し、中長期的には第3の収益の柱とする。

求職者側画面



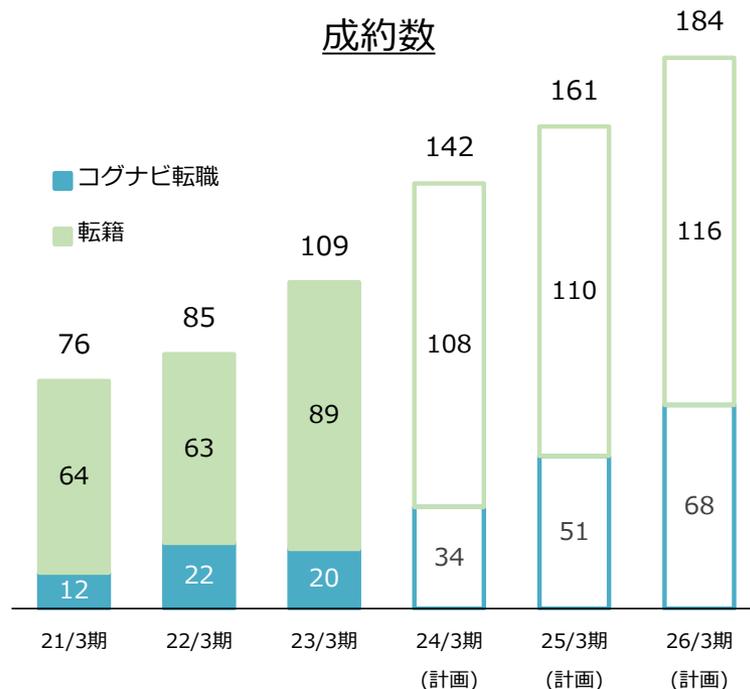
通勤圏内で自分のスキルが活かせる職場がわかる

企業側画面

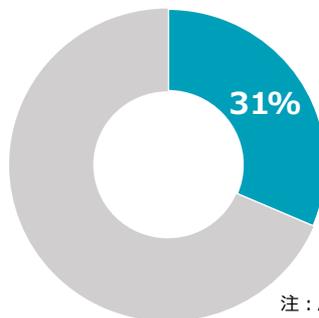


求めるスキルを持ったエンジニアの市場感がわかる

成約数



就職後3年以内の離職率 (大卒)



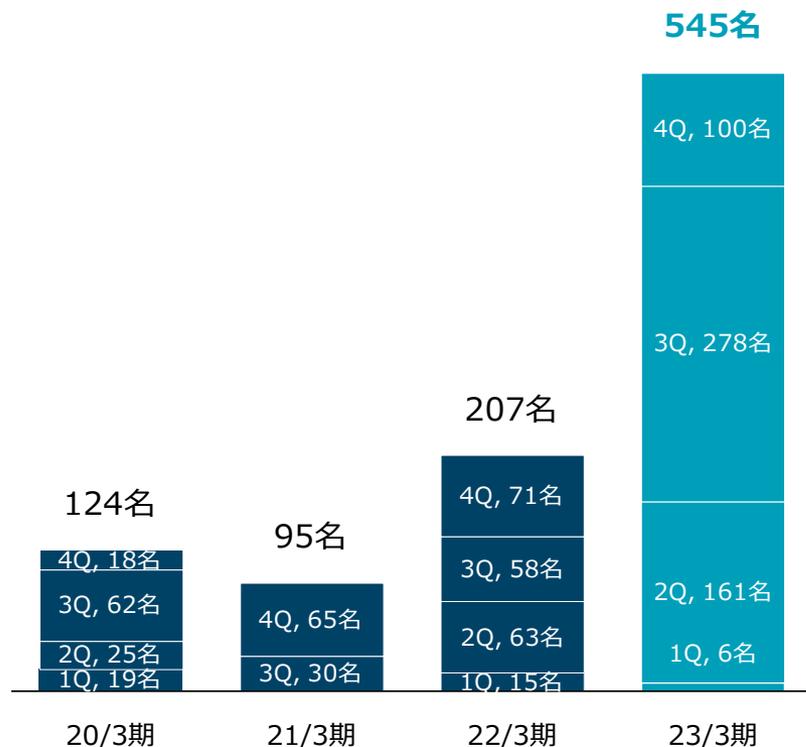
メーカーのエンジニアに向けたスキルアップ研修を提携大学にて実施。
 教授の保有スキルをデータベース化する事で、企業の“リスキリング”需要に沿った
 専門性の高い研修を、ピンポイントにマッチング。

提携大学

注* 2023年3月末時点



受講者数



35倍以上のマーケットポテンシャルのあるインドに2022年に進出。
日本と同様に、「全ての機電系学生をエンジニアに」を目指し、早期収益化を図る。



※1 当社ターゲット社数

日本の「コグナビ 新卒」
モデルをインドへ



※2 現地市場データを基に当社推計

インドの理工系学生とインドの製造業を繋ぐジョブポータルサイトの開発、運営をインドで実施するコグナビインディア社に対し、インドのSRMグローバル社、日本のクレスコ社と当社の3社が提携し、資本出資を決定。

SRM
Global Consulting

CRESCO 



Forum Engineering Inc.

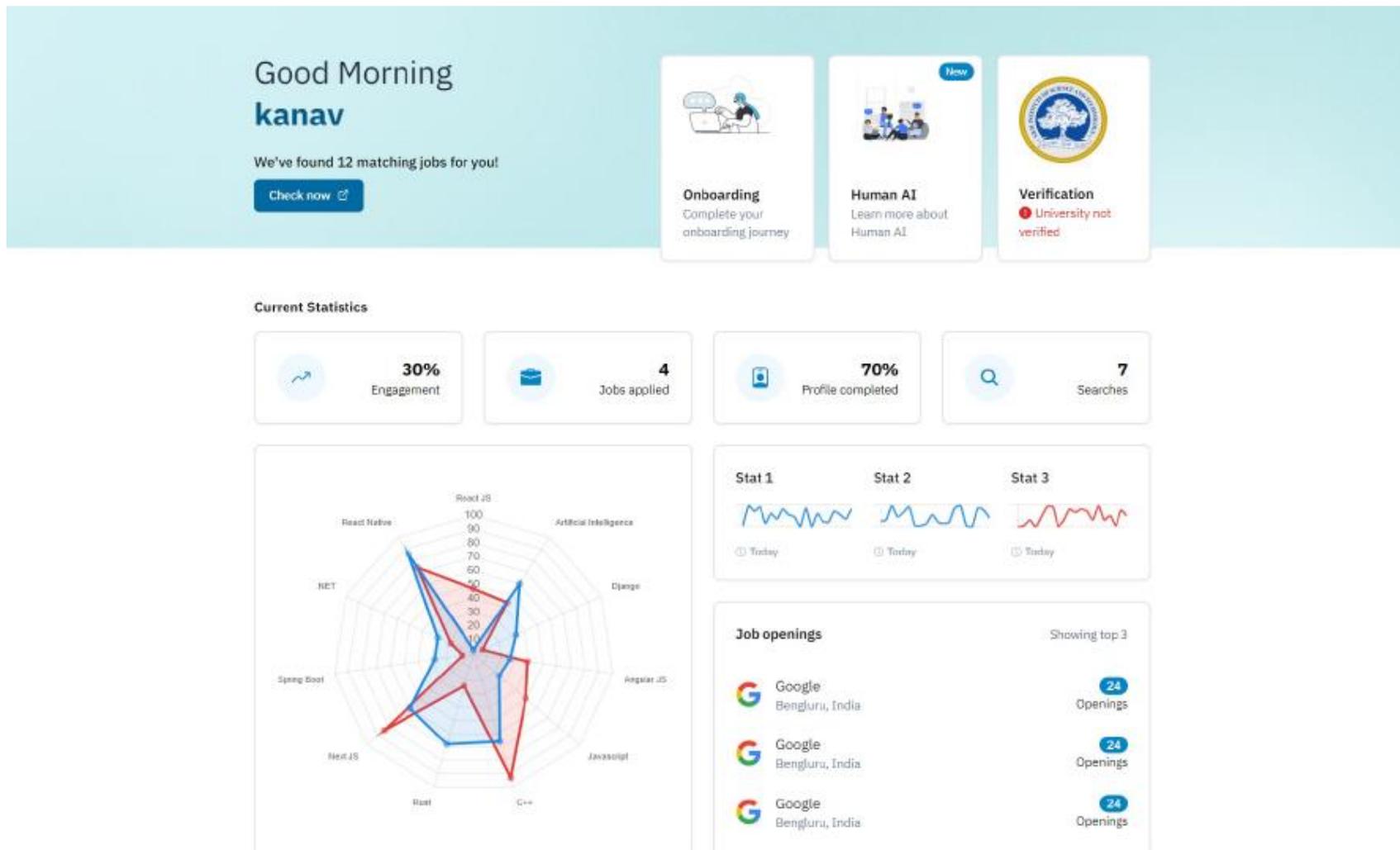
需給バランスは不均衡（圧倒的に学生が多い）



これらの課題に対応し “Cognavi Freshers” で、就活インフラを構築

インド新卒学生向けに特化したジョブポータルサイトとして、コグナビインディア社にて開発中。2023年6月にサービス開始予定。

学生ユーザートップ画面



定型の“履歴書”が
存在せず、各々で準備

レジュメビルダー

Software Engineer
SEO Executive

Publish

Education Details 1/5

Work Experience

Skills 20/20

保有スキルを選択すると、
自動でレジュメを生成

- Android
- Android sdk
- Mobile
- Development
- Design
- Javascript
- Json
- Mysql
- Xml
- Java
- Machine learning
- Data visualization
- Factor analysis
- R
- Sql
- Python
- Django
- Android development
- Application
- Applications

Projects 0/5



kanav+student@eoraa.com
Mapusa, India, 123456

Social Links

https://www.linkedin.com/in/shantanu-bahuguna-051487140/

Education

ajhdaskjh
eqweqwe, qweqweqweq
2022-2022

Skills

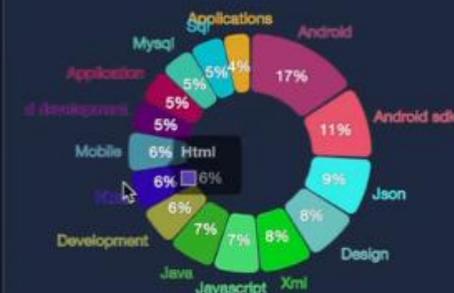
- Android
- Mobile
- Design
- Json
- Xml
- Android sdk
- Development
- Javascript
- Mysql
- Java

選択した職種に必要なスキルと
その比重を円グラフで表示。

自分の保有スキルと比較できる。

Skills Weightage

Showing weightages of top 15 skills



大量の応募を受け付け、
選考するのが手間

企業ユーザー 応募者管理画面

担当者バイアスの
かかった
属人的な選考

← Jobs

Senior Software Developer/ Lead Developer

Full Time Remote 500000 Draft

Candidates Pipeline Job details

All (200) Suggested (10) Interested (40) Shortlisted (5) Review (6) Offer (1) Rejected (5) Favorite (2)

Search by Name, University Activity Level Graduation Year AI Score Range State located in City Search

<input type="checkbox"/>	Name	Activity	Graduation Year	Age	Matching Skills	Missing Skills	Views	AI Score
<input type="checkbox"/>	William L.	Active	2019	40	42	54	75	AI 14
<input type="checkbox"/>	Lorene S.	10 days ago	2019	38	83	63	36	AI 72
<input type="checkbox"/>	Ellen W.	10 days ago	2015	31	26	4	87	AI 54
<input type="checkbox"/>	Elsie C.	4 days ago	2018	47	79	26	89	AI 60

20 rows

1. 当社のミッション
2. 中期経営計画 [cognavi Vision2026]
- 3. サステナビリティへの取り組み**

Mission

スキルがつながる世界へ。



ESG



SDGs

◆ 「cognavi Vision2026」 サステナビリティへの取り組み

— 人口が減少に転じ、構造的なエンジニア不足に悩むものづくり大国、日本。この国で、そして、世界で、理工系学生が学んだ履修科目や機械・電機系エンジニアが持つスキルと、それらを求めているメーカー企業を、独自のスキルマッチングシステム、cognaviでつなぎ、「スキルがつながる世界へ。」を実現したい —

この当社のミッションを（E）環境、（S）社会、（G）ガバナンスの3つの観点で中・長期的に追求して行く中で、国連が2030年までに持続可能な社会を実現するために達成を目指す全世界共通の17のSDGs目標（持続可能な開発目標）を意識しながら行動し、そこから当社が成長を続けるための新たなESG実践のためのテーマを見出してまいります。



ESG	実践内容 (2023年5月12日現在)	SDGs目標
E	本社オフィスでの再生エネルギーの積極活用	13 気候変動に具体的な対策を
E	DX化、ペーパーレス化を推進、そのための業務プロセス改良	13 気候変動に具体的な対策を
S	機械・電機系学生向け「エンジニア職セミナー」活動を継続	4 質の高い教育をみんなに、8 働きがいも経済成長も、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、17 パートナリシップで目標を達成しよう
S	大学でエンジニア向け企業研修、リスキリングの企画・実施	4 質の高い教育をみんなに、8 働きがいも経済成長も、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、17 パートナリシップで目標を達成しよう
S	スキルや学びをベースにした独自のAIマッチング技術の活用 ・エンジニアのキャリア形成を新卒学生の段階からフルサポート ・製造業の多くが事業所や研究所を構える地方での雇用機会創出に貢献 ・文系の営業スタッフでも、スキルツリーマッチングによる能動的な営業活動が可能に	4 質の高い教育をみんなに、5 ジェンダー平等を實現しよう、8 働きがいも経済成長も、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、11 住み続けられるまちづくりを、17 パートナリシップで目標を達成しよう
S	レスキューロボットコンテスト、RoboCupジャパンオープン協賛	4 質の高い教育をみんなに、5 ジェンダー平等を實現しよう、8 働きがいも経済成長も
S	日本学生支援機構が発行するソーシャルボンドへの投資	8 働きがいも経済成長も、10 人や国の不平等をなくそう
S	ノーマライゼーション事業の推進	8 働きがいも経済成長も、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、11 住み続けられるまちづくりを
G	バランスの取れたガバナンス体制の維持 ・社内取締役5名、社外取締役3名、社外監査役3名 (2023年5月時点)	16 平和と公正をすべての人に、17 パートナリシップで目標を達成しよう
G	社外取締役が議長を務める指名報酬委員会の設置 ・社外取締役2名、社内取締役1名 (2023年5月時点)	16 平和と公正をすべての人に、17 パートナリシップで目標を達成しよう
G	サイバーセキュリティへの対応	16 平和と公正をすべての人に

本資料には当社の現在の見通し、予想、目標、計画等を含む将来に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、将来に関する記述であることを示すためにすべてではありませんが、「信じる」、「予期する」、「計画する」、「戦略をもつ」、「期待する」、「予想する」、「予測する」又は「可能性がある」というような表現を、あるいは将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他「類似した表現」を用いています。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来予想に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績その他の結果は、将来予想に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。従って、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更又は訂正する一切の義務を当社は負いません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、何らその責任を負うことはできません。

本プレゼンテーション資料は、当社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、当社及び当社の普通株式に関する全ての情報を含むものではありません。当社の普通株式への投資判断は、当社が開示している資料をご覧ください、そこに含まれる全ての情報を検討した上で行ってください。



株式会社 フォーラムエンジニアリング

お問い合わせ先

株式会社フォーラムエンジニアリング 広報・IR部

東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー15階

メール：ir@forumeng.co.jp